広報誌

# JA きたそらち

2026 11月号 No.308

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～






9月30日、音江小学校で元気村花き生産組合音江支部が「花育授業」を行いました！児童たちが、フラワーアレンジメントを行う姿をお届けします！

➡記事の詳細は5ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！

ホームページ

YouTube

Facebook

Instagram

JA_HITASORACHI

## ～ 今月のヘッドライン ～


- 子ども達の農業体験記 ・・・・・・・・・・・・・・・4～5
- 市内小学生がAI収穫ロボットで未来の農業を体験 ・・・・6
- 広域小麦・大豆施設の増設工事無事を祈って起工式を執り行う・・・9
- 第５回　東山寛の「協同ノート」・・・・・・・11


JAきたそらち

# イベント開催！

## 9/26 北竜ひまわりライス新米大感謝祭　開催

北竜町農畜産物直売所「みのりっち北竜」前で「北竜ひまわりライス新米大感謝祭」が開催された。イベントでは同町のブランド米「北竜ひまわりライス」の「ななつぼし」「ゆめぴりか」「おぼろづき」、もち米「風の子もち」の新米が特価で販売され、開場前から新米を買い求める来場客の長い列が作られた。





同イベントの実行委員として北竜ひまわりライス生産組合の生産者や、当ＪＡの永井稔北竜地区代表理事など役職員が店頭に立ち販売。用意されたうるち米・もち米計１０００袋（５００kg）は好調な売れ行きを見せ、なかでも、もち米「風の子もち」の人気が高かった。

また、新米５kgを購入するごとに挑戦できるガラポン抽選会や、浜頓別町とのコラボによるホタテと毛ガニが販売され、イベントは大盛況であった。

【営農企画課　戸島】

## 9/27 雨竜町の秋の味覚を秋の大収穫感謝祭・新米祭り２０２６　開催

雨竜町の「道の駅　田園の里うりゅう」で「秋の大収穫感謝祭・新米祭り２０２６」が開催された。この日は、うりゅう米の新米「ななつぼし」と「ゆめぴりか」、また数量限定で”超低タンパク（基準値６・８％以下）“の「プレミアムゆめぴりか」あわせて約１１００袋が特設テントに並んだ。





当ＪＡの岩田清正組合長や小山武雨竜地区代表理事、宮武稔監事をはじめ、役職員が呼び込みをしながら新米を販売。新米を買い求めた来場客の中には、毎年イベントに訪れている方もおり「今年の新米も楽しみにしていました」と笑顔で話した。

また、先着１５０名限定の「新米すくい取り」や「大もちまき大会」、さらに厚岸漁協による牡蠣やホタテをはじめとした「海産物販売」なども行われ、会場は終日賑わいを見せた。

【営農企画課　戸島】

# 管内各地で秋の

## 10/3・4 道の駅ライスランドふかがわ 大収穫祭 開催

深川市の「道の駅　ライスランドふかがわ」で『大収穫祭』が開催され、大勢の来場客が新米を求めて賑わった。

同イベントは、10月3日と4日の2日間で行われ、200食限定の「新米カレーライス」や、道の駅レストラン「味しるべ駅逓」による新米を使用した栗釜飯など、各テナントでイベント限定販売が行われていた。



当JAは、ふかがわまい生産組合による「深川産新米『ふっくりんこ』のすくい取り」を野外特設会場で開催。2日間で約500kgの新米があっという間にすくい取られるほど大好評だった。また、ふかがわ肉牛組合による「深川牛の焼肉」も行われ、約8kgを販売した。

新米のすくい取りを行った来場客は「昨年もこのイベントに参加した。ここのお米がおいしい。今回も沢山すくえました」と話し、イベントは終日大盛況となった。



【営農企画課　戸島】

## 10/3 音楽と食を満喫「nouonの休日」開催

クラーク記念国際高等学校の特設会場で「nouonの休日」が開催された。nouonを冠するイベントは今年で2回目。今回は入場無料で誰でも参加しやすく、来場者は音楽ライブや地元グルメを満喫した。

ステージでは、音江イルム太鼓やDJ MAXXXINEらが出演。迫力ある演奏とパフォーマンスで会場を盛り上げた。また、こめッちとクラーク博士との○×クイズなども実施。子どもたちは元気よく答え、楽しんでいた。



飲食ブースには、深川市内や道内各地から飲食店が出店し、来場者は思い思いのグルメを味わった。なかでも「のうおん亭」では、豚汁や飲料のほか、当JA青年部深川支部らが炊きたての新米を来場者に笑顔で販売した。ほかにも、当JA青果部のミニトマトやりんごなどの販売も好評だった。

会場は終日、子どもから大人まで多く来場者で賑わっていた。当JAは今後も、地元農産物の魅力を発信するとともに、地域とのつながりを大切にしていく。



【営農企画課　坪】

# 子ども達の農業体験記



9月7日　一已小学校（農業センター）



9月9日　音江小学校（農業センター）



9月9日　深川小学校（農業センター）



9月18日　北新小学校（松本孝一氏圃場）



9月24 日　多度志小学校（川端健太氏圃場）



9月25 日　納内小学校（㈱岡田ファーム圃場）

## 深川市の小学校 稲刈り体験学習！

9月上旬から、深川市内小学校6校による稲刈り体験学習が開催された。5月下旬に、小学生自ら田んぼに植えた苗が生長し、無事に収穫することができた。

当日は組合員宅、深川市農業センターの圃場で市職員や組合員、青年部の指導を受けながら、児童たちは鎌を手に1株ずつ丁寧に稲を刈り取った。慣れない手つきながらも一生懸命に刈り取った稲を束ねて結び、稲を乾かすための稲架掛けまでを体験した。

また、北新小学校は令和9年に一已小学校と統合するため、同小で行う稲刈りは最後。体験を終えた同小の児童たちは「稲刈り楽しかった」「稲を束にするの難しかった」「北新小学校最後の稲刈り体験ができて良かった」と感想を元気よく語った。

今回の体験を通して、児童たちは食の大切さや農業の大変さを学ぶ貴重な機会となった。

【営農企画課　戸島】



9/30

## 音江小学校で花育授業
## 地元の花と触れ合う

北育ち元気村花き生産組合 音江支部が深川市立音江小学校4年生12人を対象に「花育授業」を実施。今年で8年目となる授業では、田中亮嗣さん（音江地区）の圃場でスターチスの収穫作業を体験。その後、同小学校のホールに大きなフラワーアレンジメントを制作した。

児童たちはトルコキキョウやダリアなど約20品目の花々を使用し、各々アレンジメントを行った。仕上げに、深川市の特産品であり、現在音江の4戸が生産する希少な『よしの鈴バラ』を飾った。





参加した児童たちからは「深川の特産品が、音江だけで育てられているのは知らなかった」と驚きの声があがった。同組合音江支部の内藤敬人支部長は「子ども達には、今回使用した花のすべてが音江で育てられていることを学んでほしい。特に『よしの鈴バラ』は現在音江のみが出荷している花。花に触れ興味をもつきっかけになれば」と話す。

また、同生産組合の会員が3種類の花を使用した花束を作り全校児童に贈呈した。

【営農企画課　戸島】

9/24・25

## 市内保育園児が
## バケツ稲の
## 脱穀・籾摺りを体験

北光保育園の園児13人と音江中央保育園の園児7人が生長を見守りながら育ててきたバケツ稲の脱穀と籾摺り体験をした。

脱穀には、昔ながらの農具「千歯こき」を使用。初めて見る道具に園児たちは興味津々の中、稲穂を一束ずつ引きながら脱穀に挑戦した。





稲穂がなかなか抜けないお友達には「頑張れ！」と元気いっぱいに声援が送られ、みんなで応援しながら脱穀作業を進めた。その後、野球ボールとザルを使った籾摺りにも挑戦し、もみ殻の中からお米が現れると「お米が出てきた！」と喜ぶ姿も見られた。

春の田植えから籾摺りまでの工程を体験した園児たち。今後は、自分たちで育てたお米を使ったおにぎり作りを予定している。

【営農企画課　高桑】

# きたそらレポート

## 9/11
### 田中深川市長が市内検査場を巡回視察





田中昌幸深川市長による深川市内検査場の巡回視察及び、表敬訪問が行われた。田中市長、近沢弘幸議長、普及センターの石村博之支所長などが当ＪＡの市内集荷施設で令和８年産米の集荷状況などを確認した。

深川マイナリーでは、深川支所の職員が令和８年産米における生育状況やタンパク値などの概要、集荷作業の進捗状況などを報告。



その後、田中市長らは稼働中の施設内に入り、ＪＡ職員による下見検査を視察した。

深川マイナリー視察後、管内検査場を巡回。視察を行った検査場では管内組合員と令和８年度産米の生育状況について話し合っていた。田中市長は「美味しいふかがわ米を食べられるのが楽しみ。たくさんの方に今年のふかがわ米を食べていただければ」と話す。

【営農企画課　戸島】

## 9/24･25
### 市内小学生がＡＩ収穫ロボットで未来の農業を体験



９月24日と25日の２日間、深川市内小学校２校でスマート農業の体験学習を行った。

この体験は、農業の最先端技術に触れ、子どもたちに農業の魅力や未来の可能性を伝えることが目的。当ＪＡと各関係機関の協力により実現した。



24日には納内小学校５・６年生14人、25日には一已小学校５年生42人を対象に（株）岡田ファームが導入しているキュウリ自動収穫ロボットの「遠隔操作による収穫体験」を実施。児童たちは学校の教室からタブレットで、約８キロ離れた農場のロボットを遠隔操作して、キュウリを収穫した。

実際に体験した児童は「ＵＦＯキャッチャーみたい」「収穫できてうれしい」など楽しみながら、未来の農業を学んだ。

【青果部　宇野】

## 10/8
## 食と農を学ぶ 自ら植えたサツマイモを収穫

一已中学校3年生50人が総合的な学習の時間を活用し、農業や食への理解を深めることを目的に、サツマイモの収穫作業を体験した。

この日生徒たちは、当ＪＡ青果部職員の指導のもと、生長したサツマイモを収穫するためにツルを鎌で根元から切り、スコップで土盛りした圃場を掘り起こした。





収穫されたサツマイモには重さ2kgを超えるものがあり、ずっしりとした大きなサツマイモを手にした生徒からは驚きの声が上がった。また、収穫したサツマイモは大小さまざまなサイズで、ＪＡ職員から苗の植え方が要因の一つであると説明を受けた。収穫の喜びと生育の難しさについて学んだ生徒は「サツマイモを傷つけないように掘るのが難しかった。均一にサツマイモを収穫する生産者の大変さを実感した」と感想を話した。

生徒たちは今後、収穫したサツマイモを使った調理体験を行う。

【営農企画課　戸島】

## 10/9
## ＪＡきたそらち女性大学カレッジあみてぃえ6期生 第4講「ボッチャ体験会」開催

ＪＡきたそらち女性大学カレッジあみてぃえ6期生の第4講が当ＪＡ本所で開催され、14人が出席した。

第4講はパラリンピック競技の一つである「ボッチャ」を体験。「ボッチャ」はヨーロッパ発祥のスポーツで、重度脳性麻痺者や四肢機能障害者のために考案された。現在は年齢、性別、障害の有無に関わらず誰もが楽しめる競技として普及している。

参加者は4チームに分かれ、白い目標球（ジャックボール）にチームカラーのボールをどれだけ近付けられるかで得点を競う。今回は立って行う「立位」でゲームを行った。





ゲームが始まると、目標球に向かって投げるだけでなく、別チームのボールを狙って目標球から遠ざけるなど、チームで戦略を話し合いながら交流を深めた。

優勝したチームには景品として深川市・雨竜町・北竜町の新米各300g、ほかのチームにはきたそらち産のきたほなみを使ったうどん（乾麺）を贈呈。

参加者は「同じチームの人と話し合って交流を深めることができ、とても楽しかった」「狙い通りにいかなかったが、初めて体験して楽しさを知ることができて良かった」と話した。

【営農企画課　石野】

10/9

## JAきたそらち 地域農業応援団 第4回 ～パン作り&りんご狩り体験～

第4回地域農業応援団が開催され13人が参加した。

今回は音江地区の「アグリ工房まあぶ」での加工体験、同地区（株）藤谷果樹園でのりんご狩り体験などを行った。

加工体験では、まあぶのインストラクターを講師に迎え、パン作りに挑戦。パン作りの合間には、農業振興部営農企画課　石野亜美職員よりJAきたそらち女性大学「カレッジあみてぃえ」の活動紹介を受け、参加者の中には次年度への参加に意欲を示す方もいた。



昼食では深川産の新米3品種の食べ比べを実施。参加者からは「3品種を食べ比べると、それぞれに特徴があり違いを楽しめた」「どのお米も美味しく、生産者の努力を感じた」といった感想が聞かれた。

りんご狩り体験では、同果樹園代表の田川大輔氏より園内に栽培しているりんごの品種や美味しいりんごの見分け方など説明を受け、参加者は一つひとつ慎重に吟味しながらりんごを収穫した。

参加者は旬の味覚を楽しみながら交流を深めるとともに、地域農産物への理解を深める貴重な機会となった。

【人事課　墓田】



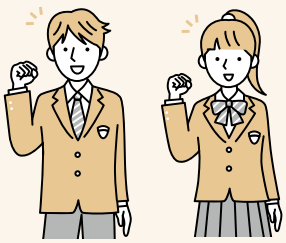
10/9

## 深川西高校1年生 フィールドスタディの実施

深川西高等学校1年生2人が当JAでフィールドスタディを実施した。

フィールドスタディは、企業を訪問し、企業と地域との繋がりや企業が取り組む社会課題を知り、社会や地域についての学びを深めることを目的として実施している。

当日は、当JAの概要や役割、地域農業の現状について説明を行い、農業が地域の暮らしや経済に果たす役割、農業を取り巻く課題や今後の展望について理解を深めた。その後は、農産物直売所ｅｃｉRへ移動し、直売所の運営や地元農産物の販売について説明を受け、地域農業と消費者をつなぐ取り組みを見学した。







参加した生徒からは「JAは農家との関わりだけではなく、信用事業などを通じて地域住民とも繋がっている組織であることを学んだ」「農業を取り巻く課題を考えるきっかけとなった」などの感想が聞かれた。

当JAでは、今後も地域の学校との連携を通じて、次世代を担う若者の農業理解の促進に努めていく。

【人事課　墓田】

10/13

## 広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設　増設工事の無事を祈り起工式を執り行う

当ＪＡは広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設で、増設工事の起工式を執り行った。この日は、ＪＡ職員含めた工事の関係者約70人が出席し玉串を奉納。工事の安全を祈る「鍬入れの儀」では、ホクレン農業協同組合連合会岩見沢支所の熊谷和也支所長が鎌を、当ＪＡの岩田清正組合長が鍬を、㈱ＩＳＥＫＩ Ｊａｐａｎの土屋勝社長が鋤をそれぞれ盛砂に入れた。





同施設は、２０１６年から稼働しているが年々、処理面積と小麦・大豆の取扱量が当初計画よりも大幅に増え、荷受け待ちが常態化していた。今回の増設工事では、荷受け調整設備と小麦用サイロ７本の増設を計画しており、対象面積が小麦１８００ha・大豆１１３９haとし、処理量は小麦８００１トン・大豆が２７３４トンにまで能力を高める。

施主の岩田組合長は「生産者の皆さまが育てた良質な農産物を、安心・安全・安定的に出荷できる施設にして参りたい」と話す。

総事業費は51億２７００万円。国の「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」を活用し、28年3月の完成を予定する。

【営農企画課　戸島】

9/4

## 経理事務研修会の開催

職員向けの経理事務研修会を開催した。

この研修は、正しい経理処理の積み重ねにより「組合員の皆さまへの誠実さ」「正しい経営判断」「組織と職員を守る内部統制」「社会的信用と法令遵守」につなげることが目的。





簿記の基本から始まり、消費税、インボイス制度、更には検証・決裁時のポイント、など実務に沿った内容で、実務担当者のほか、決裁者など、ＷＥＢ参加を含め13か所の拠点で計40人が参加した。

講師を務めた梅村総務経理課長は、「職員一人ひとりの学びがＪＡの信頼を支えてる。日々の仕事を一つひとつ丁寧に積み重ねながら、これからも組合員・地域の皆さまから信頼されるＪＡを目指していきたい」と締めくくった。

【総務経理課　畠山】



# 営業時間変更のお知らせ

## 【金融共済部】

11月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

| | ATM稼働時間（11月～翌年3月） | | |
|---|---|---|---|
| | 平　日 | 土曜日 | 日曜日・祝日 |
| 金融共済イチヤン本所 | 9:00 ～ 17:30 | 9:00 ～ 17:00 | 9:00 ～ 17:00 |
| 金融共済深川支所 | | 9:00 ～ 12:00 | 稼働しません |
| 金融共済音江支所 | | 稼働しません | |
| 金融共済納内支所 | | | |
| 金融共済多度志支所 | | | |
| 金融共済雨竜支所 | | 9:00 ～ 12:00 | |
| 金融共済北竜支所 | | | |
| 北竜町COCOWA | | | |
| 金融共済幌加内支所 | | | |

※各店舗（窓口）の営業時間は
<イチヤン本所、深川支所、雨竜支所、北竜支所、幌加内支所>　平日9：00～16：00
<音江支所、納内支所、多度志支所>　平日 午前の部 9：00～11：30　午後の部 12：30～16：00
（11:30～12：30は昼休み<窓口閉鎖>とさせて頂きます。）

※祝日の影響により営業を休止させていただく場合がございます。
※くわしくは下記までお問合せください。
金融共済イチヤン本所　TEL:0164-22-6618




## 【経済部 燃料課】

11月からのSSの営業時間は変わらず、下記のままとなります。

| SS営業時間（11月～翌年3月） | | |
|---|---|---|
| セルフ | 音　江 | 8:00−18:30 |
| | 深　川 | |
| | イチヤン | |
| フ　ル | 納　内 | 8:00−18:00 |
| | 多度志 | |
| | 北　竜 | |
| | 幌加内 | |



## 【道の駅農産物直売所　eciR】

11月から直売所の営業時間が下記の通りとなります。

| 直売所営業時間（11月～翌年3月） |
|---|
| 9:00−17:00 |



# 東山寛の「協同ノート」 第5回

## 米「過剰」は一時的な現象

北海道大学大学院
農学研究院　教授
**東山　寛**



1967年札幌市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。秋田県立農業短期大学、秋田県立大学生物資源科学部を経て、2004年北海道大学大学院農学研究院助手。助教、講師、准教授を経て、2021年より現職。

本稿を仕上げているタイミングで築和生農相が辞任することになり（10月14日）、後任は北海道12区選出の武部新衆議を起用する方針であることが伝えられています。第2次高市改造内閣の発足が9月17日で、築大臣は1ヶ月もちませんでした。秋の臨時国会は10月5日に始まりましたが、国会論戦にもほとんど参加していません。農政はこの秋に重大な局面を迎えます。「見直し」を議論する自民党の部会（農業構造転換推進委員会）は10月9日に初会合を開き、「新たな水田政策」と「ゲタ対策」は11月中の取りまとめを目指すとしました。最大の関心事である水活見直し（要件・単価）と、畑作物のゲタ単価の見直しは、11月中に大体のことが決まるでしょう。「この大事な時に何をやっているんですか」と言いたいところですが、後任予定の武部衆議は農林水産副大臣、自民党農林部会長を歴任した農政通で、その手腕をいかんなく発揮してくれるのを期待しています。

出来秋を過ぎ、札幌市内の小売店でも待望の道産米・新米が並べられています。今年の作柄は、10月13日に農水省が公表した作況調査（9月25日現在）によると、作柄表示地帯別で北空知は101（作況単収指数）、予想収量は584kg（1.90㎜ベース）でした。去年の確定値が指数96・収量564kgでしたので、豊作基調と言って良いのではないでしょうか。ただし、問題は価格です。筆者が札幌市内のスーパーで「JAきたそらち」産の新米（ホクレンパールライス商品）を初めて見かけたのは10月9日でしたが、ななつぼし精米5kg（無洗米ではない）で3,180円（税込3,435円）でした。これが最前列に並べられていましたが、奥の棚には7年産米が置かれていました。さすがに同じアイテムの前年産はありませんでしたが、「深川産・特別栽培米ななつぼし」と「JAきたそらち産・えみまる」はどちらも3,980円（税込4,299円）でした。完全に「新古逆転」現象です。

この事態を招いているのは、現在の米「過剰」の状況です。筆者は必ず「」を付けて過剰の言葉を使うようにしていますが、思いはふたつあります。ひとつは、世界全体を見渡すと、食料は決して過剰ではありません。国連機関のFAOの発表によると、2025年には世界人口の25・8%にあたる21億人が「中程度または重度の食料不安」に直面しており、深刻な状況は変わっていません。もうひとつは、この3～4年の間でも日本の米需給は「不足」と「過剰」を繰り返しており、構造的な「過剰」と言える状況ではないことです。この先を見通すと、米業界はむしろ構造的な「不足」を危惧しています。農水省も気にしている「担い手の急減」予想がその背景ですが、米卸の業界団体である全米販も「2030年代には国内需要量を国産だけでは賄いきれなくなる可能性」を指摘しています（「米穀流通2040ビジョン」）。

筆者は今の状況を楽観視しているわけではないですが、現在の米「過剰」は一時的な現象であり、もろもろの「出口対策」（政府在庫の積み増し等）を打てば済む話です。むしろこれからは、少ない数の生産者で米をきちんと作り続ける仕組みをどう維持していくか、その基本問題に農協はどう関わっていくか、そのことに注力すべきでしょう。例年ですと10月に政府の審議会（食糧部会）が開かれて来年の需給見通しが立てられますが、目先の状況に惑わされずに、水田農業のポテンシャル（潜在生産力）の維持につながるような計画が出てくることを期待しています。

# 農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員の皆さんへのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長　樽井　功

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから79年を迎えます。

戦後の食糧不足のなか、農業者自らが力を合わせ、農業生産の向上と農業者の地位向上を図るために農業協同組合が誕生しました。

以来、ＪＡは自主・自立、民主的運営、そして相互扶助の精神を礎に、組合員の営農と暮らしを支え、地域社会の発展に貢献してきました。

一方で、現在の農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期にあります。気候変動による自然災害の激甚化や資材価格の高騰、人口減少による担い手・労働力不足、さらには世界的な食料需給の不安定化など、私たちは多くの課題に直面しています。

こうした時代だからこそ、協同組合の原点に立ち返り、組合員・役職員が心を一つにして行動する「結集力」がこれまで以上に求められています。

第31回ＪＡ北海道大会では、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現を将来ビジョンとして掲げました。その実現に向けては、組合員・ＪＡ・連合会がそれぞれの役割を果たしながら、実践を積み重ねていくことが重要です。

10月16日に開催したＪＡ北海道大会実践フォーラムでは、「結集力」をキーワードに各地の実践事例や課題を共有し、組織全体の機運を高めるとともに、「ひとを育み、ひとと歩む」という視点のもと、人づくりと協同の輪をさらに広げてまいります。

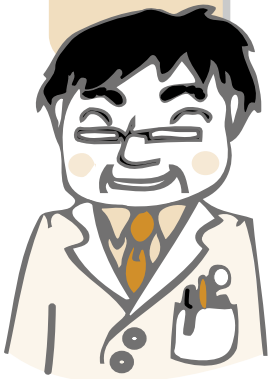
また、国際協同組合年を契機として高まった協同組合への期待を未来へつなげるためにも、農業・食・ＪＡの価値を地域と共有し、次世代へ引き継いでいかなければなりません。私たち一人ひとりが協同組合の担い手として対話を深め、地域住民とのつながりを強めることが、持続可能な北海道農業と地域社会の礎となります。

ＪＡグループ北海道は、これからも組合員・役職員の皆さんとの対話を大切にしながら、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆さまが将来に夢と希望を持って営農と生活を続けられる環境づくりに全力で取り組んでまいります。農協法公布記念日にあたり、協同の力への誇りと感謝を胸に、皆さまとともに未来を切り拓いていくことをお誓い申し上げ、メッセージといたします。

健康百歳

# 小児に関するネット依存、ゲーム依存

津田こどもクリニック　院長　津田尚也



今回は小児に関するネット依存、ゲーム依存についてお話しさせていただきます。

**〈依存症になってしまう要素〉**

依存に陥ってしまう要素が3つあります。

1：楽しい、2：飽きない、3：疲れない、の3つです。

「勉強依存」なんて聞いたことはありません。勉強はあまり楽しくないし、長く続けると疲れるし、飽きることもあります。ということで勉強は依存症になる可能性が低いです。

ゲームやネット、パチンコなどを考えてみるとどうでしょうか。楽しいし、全然飽きないし、時間がいくら経過しても疲れないなど、依存に陥りやすい要素をたくさん持っています。

**〈ネット依存やゲーム依存が増えてきた理由〉**

現代社会はどんどんストレスの多い世界となり、充足感の得られにくい時代になってきました。子どもたちは学校の宿題や習い事、塾や受験勉強で忙しいのに、学歴だけでは将来が保障されない社会になってきたため、将来のゴールが見えづらくなってきました。それに加え、部活動や習い事で忙しいにも関わらず、活動範囲が広がればSNSでのやり取りなどが増え、1日中気が休まらなくなります。そんな世の中に登場したのがネット・スマホです。これらが手軽なストレス解消法になってしまい、それ自身が「生活の中心」になってきました。

**〈ネット利用の低年齢化〉**

ネット利用の定年化が加速しています。2024年に行われたこども家庭庁の調査によると、2歳児のネット利用率は58・8％、6歳児の利用率は80・9％と報告されました。スマホの使用に関しても低年齢化が進んでおり、スマホデビューする時期の年齢第1位は小学校6年でした。

**〈ネット利用の長時間化〉**

利用の長時間化も大きな問題になっています。前述したこども家庭庁の同調査によると、ネット利用の平均時間は、10歳以上の小学生で226分、中学生で282分、高校生に至っては374分と報告されました。一般的な高校生は毎日6時間以上利用していることになります。

長時間利用の弊害は多く報告されています。2020年に先進国29か国で調査した結果、パソコン・ネット利用時間が長ければ長いほど学力が低下するという事実が報告されました。

長時間利用問題に追い討ちをかけたのが「新型コロナウイルス感染騒動」です。かなりの期間、日本中でステイホームを余儀なくされ、時間を持て余した結果、ネット利用する時間が急激に伸びてしまいました。

**〈ゲーム障害とは〉**

2019年5月、世界保健機構（WHO）が発表した国際疾病分類11版（ICD11）の中に「ゲーム障害」という疾患が初めて定義されました。ゲーム障害をギャンブル依存と同様の行動嗜癖疾患として認定したことになります。

WHOの定めた診断基準は以下のとおりです。

1：ゲームの回数や時間をコントロールできない

2：日常生活よりもゲームを優先する

3：健康などに問題が起きてもゲームを続ける

4：家族や社会、学習、仕事に重大な支障が生じている

大人の診断基準は「この状態が1年以上続く」とされていますが、小児に関してはもう少し短い期間でも診断していいことになっています。

ゲーム障害は脳の一部が損傷していることも報告されています。前頭前野の機能低下、依存に対する脳の過剰反応、報酬の欠乏により強い刺激を求める反応が増加することなどが言われており、これは覚醒剤や麻薬による薬物依存と同様の脳の変化です。脳の障害部位から考えると、ゲーム障害と薬物依存は同じ機序で起こっているということです。

**〈子どもに与える悪影響〉**

まだ発達の途中段階における子どもに対し、依存症がもたらす健康被害はたくさんあります。慢性的な睡眠不足、自律神経の発達不全（興奮がコントロールできない、キレやすい）、目へのダメージ（視力低下、急性内斜視）、スマホ難聴、ストレートネック（慢性的な首の痛みや肩こり）、スマホ腱鞘炎など、数多く報告されており、これは短時間利用でも発症したり、悪影響が出るそうです。

**〈これから求められる対応〉**

今の子どもたちの10年、20年後の暮らしを想像する時、デジタル機器が使われなくなっている世界を思い描くのはほぼ不可能です。仕事も家庭生活も趣味も、おそらく今よりはるかに大きくデジタル社会に依存しているはずです。時代は後ろには戻りません。それを考えると、デジタル機器を遠ざけるばかりの対応では勝ち目なしです。

今、私たちが考え、対策する必要があるのは、来るべき将来の暮らしに適応できるよう、子どもたちの足元をしっかり固めておくことです。私たちはもはや「デジタルのある世界」から「デジタルのない世界」へ後戻りすることはできません。この状況を前向きに突破するべきと考えます。

# 総務部からのお知らせ

## ＜ 中身はデジタル、提出は紙、その名は「QRコード申請」！ ＞




QRコード付き書面申請は、パソコンで入力した申請内容をQRコードにまとめ、紙に印刷して提出する申請方法です。

コンな人におすすめです。

- 自宅にネット環境があって印刷できる。
- 仕事の合間で申請準備を進めたい。
- 電子証明書とか難しそう・・・。
- 書き直しは嫌だけど、紙提出したい。



だったら、QRコード付き書面申請がピッタリだよ！




### 申請方法の違いは？

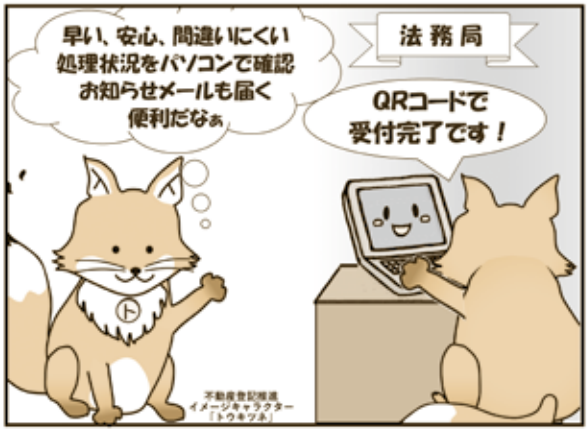
| 申請方法 | QRコード | オンライン |
|---|---|---|
| 印刷 | 必要 | 不要 |
| 提出方法 | 紙 | インターネット |
| ICカード | 不要 | 必要な場合あり |
| 難易度 | 比較的簡単 | 設定がやや複雑 |

「紙」と「オンライン」のいいとこ取り！
官公署・自治体でも使えるよ




### ～　申請までの流れ　～

① 申請用総合ソフトのインストール
② パソコンで申請データを入力
③ 申請データの事前送信（電子証明は不要）
④ QRコード付き申請書を印刷
⑤ 署名・押印（必要な場合）
⑥ 印刷した④と添付する書類をまとめて、窓口又は郵送で提出
※印刷した申請書を提出した時点で受付されます。




初めての方でも安心してご利用できます。

登記・供託オンライン申請システム操作サポートデスク
ＴＥＬ：050−3786−5797
お問い合わせ 8:30から19:00まで（休日・祝日を除く）

詳細は法務局ホームページを確認してください。

QRコード付き書面申請

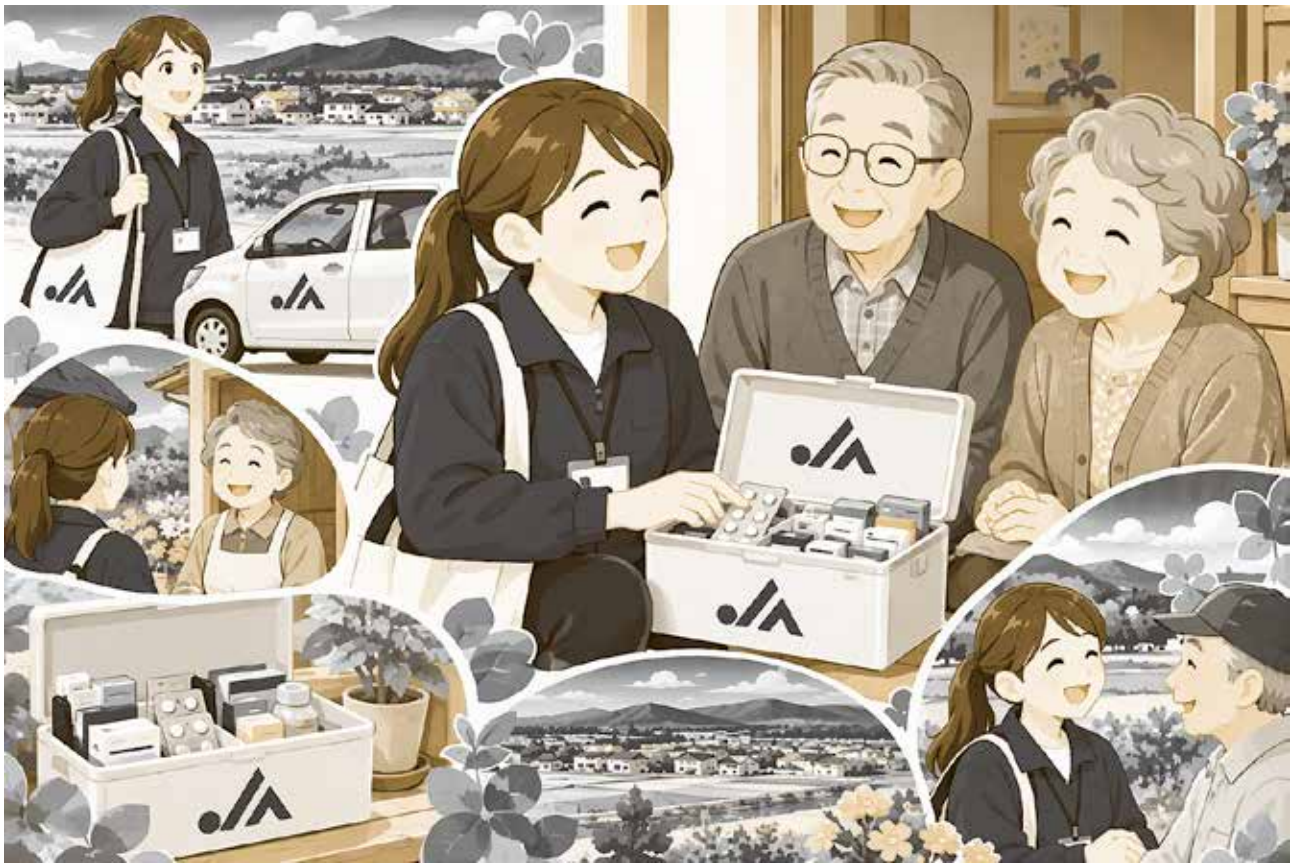
※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

# JA北海道厚生連　家庭配置薬推進員募集!

■**勤務先**　滝川市江部乙町・北竜町・雨竜町及び近郊
■**内　容**　JA配置薬箱を置いているお客様を訪問し、薬の補充や引上、使用状況の確認等（月100件程度）
■**期　間**　毎年3月年度末更新（原則更新）
■**報　酬**　完全歩合制（月100件程度の訪問で月収約10万円～20万円）
※交通費・通勤手当含む
■**勤　務**　原則時間・日数自由
※8:30～17:00の間が目安（直行直帰／業務終了次第帰宅可能）
■**資　格**　普通自動車免許（AT限定可　車持ち込みできる方）
※車購入補助費一律18万円支給あり（厚生連規定）

☑ 未経験歓迎　☑ WワークOK　☑ 私服で勤務OK
☑ 日数・時間などご自身の都合に合わせて自由に決められます！

札幌市中央区北4条西1丁目1番地　JA北海道厚生連　配置薬課
☎ 0120-99-4193 又は 011-232-6535　（平日8:30～17:00　担当：加藤・藤田）



**皆様の健康を守るお仕事です。**
**まずはお気軽にお電話ください。**

# 金融共済部からのお知らせ

## 知って得する農業者年金

安心の
終身年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入し豊かな老後を！

ポイント 1

### 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

①年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者（保険料免除を除く。）である20歳以上60歳未満の方、又は60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者が加入できます。

②農業者年金は積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い。

**死亡一時金もあり安心**

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として受け取れます。※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント 2

### 一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助（月額最大1万円）があります。

認定農業者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円）があります。

この国庫補助は経営継承など一定の要件を満たせば将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期について年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント 3

### 生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。保険料は全額社会保険料控除の対象

●支払った保険料は家族分も含めて全額が社会保険料控除の対象。
●所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。
（支払保険料の15%～30%程度が節税。）
●保険料の運用益が非課税　●将来受け取る農業者年金には公的年金等控除は適用されます。
●死亡一時金は非課税です。

**事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。**

詳しくは… 農業者年金基金 検索 https://www.nounen.go.jp

**またはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。**

JA きたそらち

本　　所　TEL 0164-34-7150
イチヤン本所　TEL 0164-22-6618
音江支所　TEL 0164-25-1111
深川支所　TEL 0164-22-2171
納内支所　TEL 0164-24-2211
多度志支所　TEL 0164-27-2111
雨 竜 支 所　TEL 0125-77-2331
北 竜 支 所　TEL 0164-34-2280
幌加内支所　TEL 0165-35-2024

## 令和８年度 ホクレン南北海道市場和牛・交雑素牛販売情報

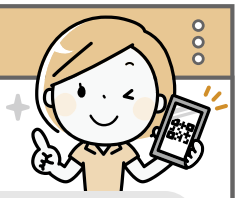
開催日
9/9～9/10
市場成績

| 品種 | 性別 | 区分 | 市場全体 | | きたそらち農協 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 本年９月実績 | 前年同月実績 | 本年９月実績 | 前年同月実績 |
| 和牛 | 去勢 | 出場頭数 | 805 | 901 | 20 | 27 |
| | | 平均価格 | 888,488 | 751,425 | 816,255 | 695,332 |
| | めす | 出場頭数 | 555 | 618 | 48 | 38 |
| | | 平均価格 | 798,087 | 608,866 | 766,540 | 600,661 |
| 交雑 | 去勢 | 出場頭数 | 122 | 61 | 0 | 0 |
| | | 平均価格 | 488,021 | 382,360 | 0 | 0 |
| | めす | 出場頭数 | 286 | 223 | 99 | 75 |
| | | 平均価格 | 430,608 | 369,735 | 430,444 | 365,963 |

【平均価格は円・税込価格】



### 青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA

URYU_SEINENB

青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

# 十月俳句

### ●雨竜俳句会

流れ星宇宙の不思議今更に　北川　満江
秋の宵一枚羽織り帰路急ぐ　佐々木待子
ピーヒョロロその輪に曾孫秋まつり　松木　五月
秋めくや口紅深く濃くなりて　宮武めぐみ
秋祭り余興の演者プロのよう　吉見サヨ子

### ●「道」俳句会　北竜支部

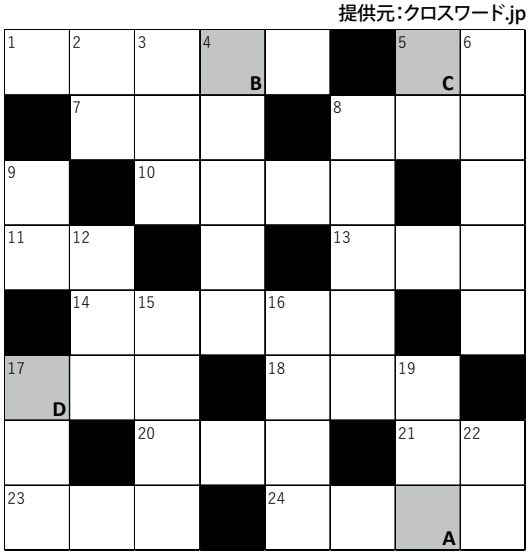
好きだったお萩を母へ秋彼岸　山本　玲子
夜業の灯消して母屋の灯にむかう　山岸　正俊
田仕舞や男呑めない酒チビり　吉尾　広子
歯科通い苅田の増える家路かな　山下　好晴
出来秋の地物野菜の道の駅　佐藤美智子
秋の蜘蛛我慢の眼光る軒　阿部れい子
花猪口ぬめりと香りいと旨し　南　秀幸

### ●土筆俳句会

嫁の手を導くのみや芒梅雨　高尾美津子
交番は誰も居らずよ秋日和　池田　美知
魂胆なき嬰の笑顔や秋うらら　南川冨美子
秋うらうらちいさなあしのバレリーナ　滝口富美子
掌の栗をくわえて去る栗鼠よ　菅原　優子
林檎剥く口開けて待つ孫と犬　森田裕美子
枝豆に釣られて出向く旨い里　山之内信子
雨曇りいっきに晴れて今日の月　小橋　厚子

# クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



| A | B | C | D |
|---|---|---|---|
| | | | |

【タテのカギ】

2 建物の外部。屋外。物の外側に当たる部分。
3 品物を売る人。⇔買い手。
4 会社・工場などが、仕事の一部を外部の業者に発注すること。
5 「雷」の音読み。「落雷」。「雷雨」
6 文の意味をはっきりさせたり、読みやすくするための「、」や「。」のこと。
8 英語を使って話すこと。
9 野菜やくだものを販売する店。○○屋。
12 本や書物のこと。○○館。○○委員会。
15 必要分を越えた残り。あまり。
16 すぐれた刀。名高い名刀。
17 上半身に着る西洋風の肌着。
19 数を数えるときに言う言葉。ひとつ。
22 まっすぐで細長く手に持てるぐらいのもの。○高跳び。

【ヨコのカギ】

1 予想もしなかった成り行きになること。意外。
5 気持ちや、不安が減り安心できること。気持ちが○。
7 神社の前に立っている門。
8 英語で「8」のこと。
10 物事の手順や手続きを間違えること。段取りを誤ること。
11 空気を伝わって、音波によって耳に伝わるひびき。
13 書く人。書いた人。
14 明るく照らし出す事。または、その明かり。
17 身につけて持っていること。「○○○品」
18 いわうこと。
20 風を受ける三角の帆をはって進む小型の船。
21 口が小さく、胴の部分がふくらんでいる入れ物。
23 その折の状況や事情。
24 バスの○○○○状況。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 ジ | 2 テ | ン | 3 シ C | 4 ヤ | | 5 ヨ D | ク |
| | ン | | 6 オ | タ | ケ | ビ | |
| 7 カ A | ネ | ヅ | カ | イ | | 8 ス | ズ |
| 9 ビ | ン | | ゲ | | 10 コ | テ | |
| ン | | 11 セ | ン | 12 ギ | リ | | 13 コ |
| | 14 ン | カ | | 15 | ゲ | 16 コ | ウ |
| 17 ケ | イ | ジ | 18 バ | ン | | 19 ゲ | キ |
| 20 サ | ジ | | ス | | 21 ゴ | メ | ン B |

## 9月号の答え
## 「カンショ」

深川市　渡辺　秀政　様
北竜町　齋藤ひとみ　様
伊達市　黒川　崇　様
が選ばれました。

正解者の中から抽選で3名様に
「農協全国商品券」をプレゼント




・・・ 応募締切　11月30日(消印有効) ・・・

### 応募方法

ハガキ・FAX・ホームページ応募フォームに、
①クイズの答え　②住所、氏名、年齢
③身近な出来事　④農協だよりに対するご意見ご感想
を記入の上ご応募下さい。当選者は1月号に掲載します。

### 宛　先

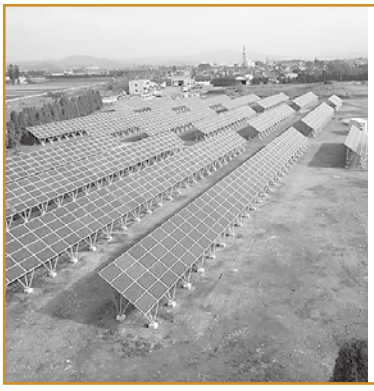
〒074-0015
深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち　農業振興部営農企画課
FAXの場合は　0164-22-1228
ホームページはこちらのQRコードから

※ハガキで応募は、85円分のハガキ、切手をご使用ください。
ご本人以外による応募は抽選外とさせていただきます。

## 組合員の動き
(令和8年9月末日)

| | | 当期首 | 加入 | 脱退 | 当月末 |
|---|---|---|---|---|---|
| 正組合員 | 個人 | 1,136 | 7 | 36 | 1,107 |
| | 団体 | 120 | 4 | 0 | 124 |
| 准組合員 | 個人 | 5,217 | 43 | 53 | 5,207 |
| | 団体 | 248 | 4 | 1 | 251 |
| 正組合員戸数 | | 801 | 3 | 20 | 784 |





## JAきたそらち太陽光発電所　発電実績

○令和8年9月実績

発電電力 **51,461kWh**

計画対比　+10,861kWh
前年対比　+1,754kWh

売電金額　2,058,440円（40円/kWh）

○累計（R7.12～R8.9）

発電電力 **474,749kWh**　計画対比　+108,965kWh　/　前年対比　+51,712kWh

## 第10回理事会〈令和8年10月2日開催〉以下の事項について決議･承認されました

### 報告事項

1．関係団体等諸会議について
2．組合員の加入脱退について
3．財務報告及び事業実績について
4．固定資産およびリース資産の取得について
5．職員の人事及び業務事故について
6．JAグループ北海道令和８年度不祥事撲滅に向けた重点実施項目の取組について
7．貸出金の貸付報告について
8．令和８年度JA共済コンプライアンス点検結果について
9．第１回「北海道米お米・ごはん川柳コンテスト」の開催について
10. 令和８年産米集荷状況について
11. 米在庫状況（８月末）について
12. 令和８年産農産物の集荷状況について
13. 販売未収金について
14. 令和８年産　畜産物の販売実績（８月末）について
15. きたそらちRiceForum～つなげるおこめ2026～の開催について
16. 税制改正された場合のななつぼし複数年契約の取り進めについて
17. 令和８年度　青果・花き集荷販売実績について
18. 経済部事業実績について

### 提出議案

議案第１号　令和8年度上半期決算棚卸・固定資産現地確認立会及び上半期決算定期監査の結果について
議案第２号　北海道農協検査に対する回答について
議案第３号　令和8年度　半期ディスクロージャーについて
議案第４号　子会社管理規程の制定について
議案第５号　経理規程の一部改正について
議案第６号　特定個人情報取扱規程、特定個人情報取扱細則の一部改正について
議案第７号　ハラスメント防止規程の一部改正について
議案第８号　クミカン貸越極度額の変更について
議案第９号　貸出金の貸付について
議案第10号　理事者に対する貸出承認について
議案第11号　JAきたそらち農業教育振興基金の活用について
議案第12号　令和8年産小麦概算金設定について
議案第13号　令和8年産共計大豆の概算金設定について



# 金融共済部からのお知らせ

JA共済

## 将来の自分のために積み立てましょう！（コツコツ）

予定利率変動型年金共済
ライフロード

## 予定利率変動型年金共済 年金共済



**加入年齢（年・月払）：18 歳～85 歳(税制適格特約付きは 80 歳まで)**

### 1 積み立て感覚で月々3,000 円から始められます

共済掛金建てなので、共済掛金を月々１万円、２万円といった積み立て感覚でご加入いただけます。
※最低保証年金額が６万円未満となる場合はお引受けできません。

### 2 年金額アップが期待できます

６年目以降１年ごとに予定利率を見直しますので、年金額が増える楽しみがあります。
また、一度増加した年金額は減りませんし、最低保証予定利率が設定されていますので、安心です。
※予定利率が最低保証予定利率を上回る水準が非常に低い場合、最低保証年金額が増額されないことがあります。

### 3 個人年金保険料控除の対象になります（税制適格特約付の場合）

一定の条件を満たし、税制適格特約を付加している場合は、他の保険料控除とは別枠で、所得税で最高４万円、住民税で最高 2.8 万円までの所得控除が受けられます。

### 4 簡単な告知でお申込みできます

ご契約にあたり医師の診査は不要です。健康状態の告知は下記の２項目のみと簡単なので手軽にお申込みいただけます。

**①現在、病気や外傷で、安静療養中ですか？　②今後、入院または手術の予定がありますか？**
**上記２項目が「いいえ」の場合にご加入いただけます。**
（両方が「いいえ」の場合でも、ご職業などによってご加入いただけない場合もあります。）

**ご契約例：定期年金タイプ**
**月々１万円プラン**

60 歳払込終了、60 歳年金受取開始、受取期間 10 年、当初５年間の予定利率 1.6%、税制適格特約付

受取総額は、万円未満は切り捨てて表示しています。　（令和８年４月現在）

| 加入年齢 | 共済掛金累計 | 受取総額 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 男性 | | 女性 | |
| | | ６年目以降の予定利率 | | ６年目以降の予定利率 | |
| | | 0.5%の場合 | 1.00%の場合 | 0.5%の場合 | 1.00%の場合 |
| 20 歳 | 480 万円 | 507 万円 | 568 万円 | 507 万円 | 567 万円 |
| 25 歳 | 420 万円 | 438 万円 | 485 万円 | 438 万円 | 485 万円 |
| 30 歳 | 360 万円 | 370 万円 | 405 万円 | 370 万円 | 405 万円 |
| 35 歳 | 300 万円 | 305 万円 | 330 万円 | 305 万円 | 330 万円 |
| 40 歳 | 240 万円 | 241 万円 | 258 万円 | 242 万円 | 258 万円 |
| 45 歳 | 180 万円 | 181 万円 | 191 万円 | 181 万円 | 191 万円 |
| 50 歳 | 120 万円 | 121 万円 | 126 万円 | 121 万円 | 126 万円 |

※予定利率とは、共済掛金積立金を積み立てる際に適用されるあらかじめ定められた利率のことです。当共済に適用される予定利率は、ご契約当初５年は固定ですが、ご契約６年目以降は毎年見直されます。
※ご契約時の予定利率は、毎年設定されます。したがってご契約時期によって適用される予定利率が異なり、最低保証年金額が変更となる場合があります。※予定利率は共済掛金積立金にかかるものであり、お支払いいただいた共済掛金全体に対するものではありません。したがって、共済掛金全体に対する利回りは予定利率よりも低くなります。※予定利率 0.5%は６年目以降の最低保証予定利率です。予定利率 1.00%の場合は、あくまで現在適用されている予定利率を基準とした試算であり、将来の年金の受取額を保証するものではありません。※令和８年１月末現在の法令等にもとづき記載しています。将来の取扱いを保証するものではありません。※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは JAきたそらち 共済センター TEL 0164-34-7151
イチヤン本　所 TEL 0164-22-6619　多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111　雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171　北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211　幌加内支所 TEL 0165-35-2025
【26019990083】

■発行／きたそらち農業協同組合　〒074-0015　北海道深川市深川町字メム10号線山3線5850番地　TEL 0164 (22) 6600　FAX 0164 (22) 8611
https://www.ja-kitasorachi.com　■編集／農業振興部 営農企画課　■印刷／株式会社 須田製版